歴史の散歩道

作見の井戸

作況を占う伝説の井戸

志が発起人となり、井戸年)に深谷・草野地区の 2枚渡しただけのものでし たが、昭和55年(1980 かつての井戸口は木 板を

前日までの約30日間)の水 説もあります)。 代後期)には『作見の井戸 ると知られるようになり 量で稲の作況を予 した。天明の頃(17 勢至観音堂の井戸 左エ門義信が設置したと伝 ります (一方で隣接する とする

節気の小寒の日から立春のが激しく、寒の節(二十四 呼称があったと伝わ 知でき ŋ

を続けています。 米の作況と合わせて記録

さ約4 2・25m程で平年並み、2・ 製の尺棒を用います。長の傍らに置かれている鉄 が毎年1 観測は、現在も地元J 豊作と占います。 以下は不作、満水時は大 30m以上は豊作、2・20m が記されていて、水位は 棒には5㎝刻みで白い輪 水位の測定には、井戸 りました。 m、直径9㎝の尺 月に行っていて、 水位の

りこの地に移住した佐藤庄 代藩主・相馬忠胤の命によ 井戸があります。

寛文9年

』と呼ばれる不 深谷地区に『作

思議

居

を設けて作見水神 を整備。傍らに祠や

0)

辺

な井

(1669年)に相馬藩3

文化財としての価値があ 村指定有形民俗文化 解く民俗知識や習俗に、 てきた人々の自然を読み るとして、村は令 月に『作見の井戸 厳しい自然と向き合つ -和6年



尺棒を差し入れ水位を見ます。平成18年の「作見」 の様子。(JAふくしま未来飯舘営農センター提供)



作見水神を祀る祠や縁起を記した石碑などは昭和 55年に整備されたもの。祠の左手に井戸があります。

子を手に取り、新し たい本が紹介されていますので、ぜひ冊 はもちろん多くの方々に読んでもらい のご協力のもと実施しています。 二十歳の皆さんに1冊選んでもらい 本を選び『はたちの20冊』という冊子 方々が15冊 人出版文化産業振興財団(JP を作ります。その冊子の 人式に贈るものです。毎年、一般財団法 この『はたちの20冊』は、二十歳の方 事業では村で5冊 たちの20 、二十歳の皆さんのため 冊』を 答 い本との出会い 界の著名 中から、村の Ĉ 成 \mathcal{O}



からのお知らせです。交流センター「ふれ感 「ふれ愛館」

ふれ愛館だより

イノサル通信

令和5年度の鳥獣対策を振り返る

広報いいたてへの連載を始めさせてもらってから、ほぼ1年が経ち、早くも令和5年度が終わろうとしています。そ こで今回は今年度に飯舘村で、どのような鳥獣対策に関する取り組みが行われたかを振り返りたいと思います。

村が補助を出し、農地に防護柵が設置されました。

■電気柵:52,647m ■ワイヤーメッシュ柵:25,828m

整備

鳥獣の隠れ場所や通路にならないよう、河川の除草を行いました。

■延長1,700m

鳥獣被害対策実施隊により、捕獲が行われました。(捕獲頭数は1月末時点)

■イノシシ:130頭 ■ニホンザル:146頭 ■ハクビシン:36頭 ■カラス:35羽 等

地域による鳥獣対策を推進するため、様々な支援をしました。

- ■伊丹沢: 防護柵によるニホンザル防除試験やセンサーカメラ調査等の対策を総合的に支援 (広報9・11月号参照)
- ■草野及び大久保・外内:鳥獣対策の考え方の説明や相談会を開催

正しい知識を広め、被害を防げると思ってもらえるよう、様々な方法で普及を行いました。

- ■広報いいたて:令和5年5月から令和6年3月まで、計11回
- ■防護柵管理講習:2回開催(5月2日、12月7日)
- ■被害現場での対策助言

効果的な対策の検討や実施した対策を評価するため、様々な調査を行いました。

- ■イノシシ痕跡調査(広報1月号参照) ■イノシシ捕獲状況調査 ■ニホンザル追跡調査
- ■ニホンザル被害農地でセンサーカメラによる侵入経路調査
 ■ニホンジカ目撃情報収集

令和5年度は、対策支援の一環で、伊丹沢地区で地域と協力した取り組みが本格的に始まり、広報への連 載や講習といった普及事業も実施できました。少しずつでも、総合的な対策、被害を減らす対策を支援で きたらと考えていますので、令和6年度もよろしくお願いします!



県道を渡るニホンザル(草野群)



伊丹沢役員会にて鳥獣対策の打ち合わせ



自動撮影のカメラが捉えたイノシシ

イノサル通信は村 の鳥獣対策を支援 する鉄谷さんから のお知らせです。

鉄谷 龍之 さん

福島県避難地域鳥獣対策支援員

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯舘村の鳥獣対策に携わ り、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

、ます

楽しんでいただきたいと思い

ーで配布しています